

災害への備え、被災時の地域協力を考える内郷の会

あんしん内郷

第 12 号 (2026 年 9 月)

発行:内郷地区社会福祉協議会

Tel/Fax:043-486-5690

e メール:uts@catv296.ne.jp

Instagram:uchigou_bousai



あんしん内郷
Instagram

大地震!!…あなたの家は大丈夫? 「住宅の耐震化」できてる?



レオくん



麦ちゃん

🐶 昨日、地震あったね。最近、地震多くない?

🐱 そうだね、関東では「地震の活動期」に入っているんだ。「大正関東大震災」から 100 年が過ぎて M7 クラスの直下型の内陸型地震が増えてくる時期なんだ。

🐶 え?これから大きな地震が増えてくるの?

🐱 「首都直下地震」は今後 30 年以内に 70%の確率で起こると言われているんだ。今、この瞬間に大きな地震が起こってもおかしくないんだよ。

🐶 首都だから東京で起きるんでしょ?

🐱 茨城で起きてても千葉で起きてても「首都直下地震」だよ。特に南関東には危険な断層がたくさんあるんだ。

🐶 佐倉も危ないのかな?

🐱 佐倉の場合「千葉県北西部直下地震」が一番被害が出ると言われているよ。千葉から市川にかけて想定震源域が広がっているよ。(図1)

🐶 えっ! そうなの? 佐倉の揺れってどのくらい?

🐱 「千葉県北西部直下地震」は M7.3 で佐倉市の約 80%は震度 6 弱になると想定されているよ。(図2)

実は、「阪神淡路大震災」と「熊本地震」も M7.3 で、震度 7 や震度 6 の強い揺れだったんだ。

直下地震は、震源から数十kmと近いから強い揺れになるんだよ。

図1)千葉県北西部直下地震の想定震源域

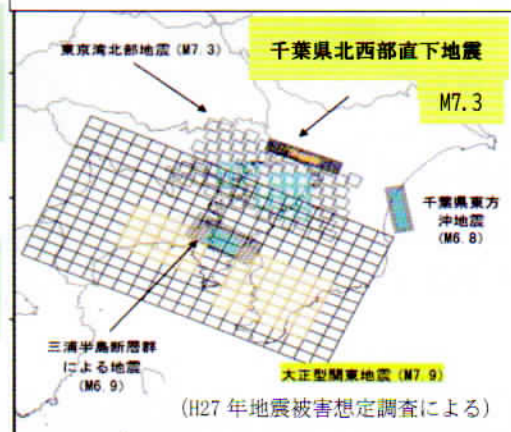


図2)平成27年地震被害想定調査による地震の予想震度分布



この図を見て！震度6弱になると、耐震性が低い木造建築は被害が出始めるんだ。

図3) 気象庁「震度階級関連解説表」より



それに、日本にはまだわかっていない断層はたくさんあって、震度7になる直下地震は日本全国どこで起きてもおかしくないらしい。

今住んでいる家はいつ頃建てたのかな？

ウチは50年位前かな。

築40年以上の家は危険だ！

図4を見ると「旧耐震基準」だね。

図4)	住宅の耐震性		
木造建築	旧耐震基準	新耐震基準	現耐震基準
建築年月	～1981年5月	～2000年5月	2000年6月～
耐震程度	震度5程度	震度6～？	震度6～7
大地震には？	危険！	注意！	ほぼ安心

「旧耐震基準の住宅」は「震度5程度で倒壊しない」様に建てられているんだ。
震度6や7だと全壊、倒壊、大破など大規模損壊の恐れがあるんだよ。

「熊本地震」では、旧耐震基準の半数近くが倒壊・大破だったよ。

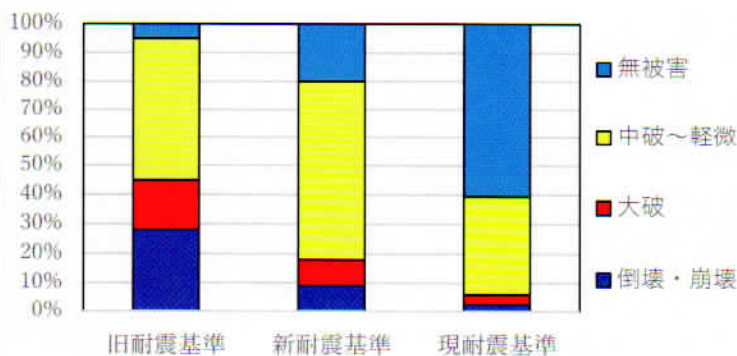
新耐震基準でも2割。

対して、現耐震基準は半分以上が無傷だったんだ。(図5)

「能登半島地震」でも地震で揺れている最中…数十秒で古い住宅が次々と倒壊したんだ。

被災した住宅の多くは耐震工事が必要な住宅だったんだよ。

図5) 熊本地震の木造建築の建物被害



出典：国土交通省資料

耐震工事をしていれば助かった命がたくさんあるんだ。

住宅の耐震性がどれだけ重要かわかるね。

🐱「阪神淡路大震災」では犠牲者（直接死）の8割近くが建物や家具等による圧死だったんだよ。（図6）家の耐震性があれば救われた命だね。

🐱「阪神淡路大震災」で誰に救助されたか？（図7）
というと、自分自身や自分の家族が約6割、隣近所が約3割だったんだ。
消防や自衛隊等に救助されたのは、ほんの2%程度だったんだよ。救助を待つ間に亡くなった人が数多くいたんだ。

首都直下地震の被害は日本の人口の約 1/3 に及ぶから、助けはまず来ないと思っていた方が良い。
救急も消防も圧倒的に数が足りないからね。
だから、自分の身は自分で守る、そして隣近所の助け合いが助かる鍵なんだよ。
住宅の耐震化は自分や家族を守るために必須だね。

🍌 おじいちゃん、家が壊れても仕方ないなって。

🐱 自分だけの問題じゃ済まないよ。避難や救助の妨げになったり、倒れかかってお隣の家を壊したり、火災発生の危険等もあるんだ。

🐱 近年注目されているのは「災害関連死」だよ。
避難所生活は、高齢者や乳幼児には特に過酷なんだ。大勢が避難する中、硬い床での寝泊まりで睡眠は十分に取れない。犯罪、暑さや寒さ、感染症、それにトイレは並ぶし、すぐに汚くなる。トイレに行くのを控える為に水分を摂るのを控える人も多い。動かないとエコノミー症候群の危険性もある。

だから、地震で生き延びても「災害関連死」で命を無くす人が多いんだ。

阪神淡路大震災では900人以上（犠牲者の約14%）が災害関連死だった。熊本地震や能登半島地震では7～8割に及んでいる。

年齢的には70歳以上の人が多くを占めている。

原因は心疾患や肺炎が多いんだ。高齢になると免疫が落ちてくるし、持病のある人が増えてくるからね。

図6) 阪神淡路大震災の直接死の死因

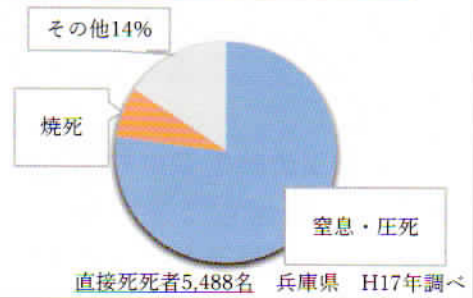
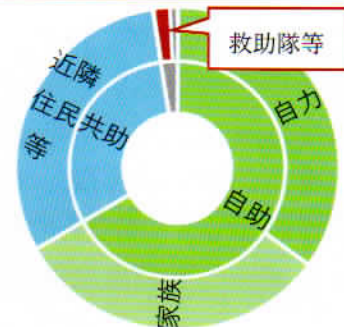
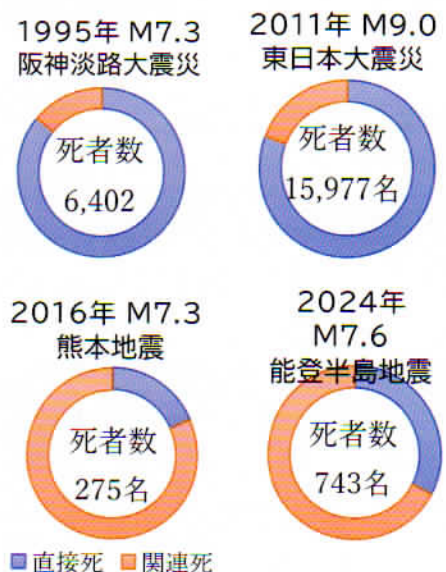


図7) 淡路大震災の生き埋めや閉じ込められた際の要救助者の救助主体



1995 兵庫県南部地震における火災に関する調査報告書

図8) 地震による死者と関連死の割合

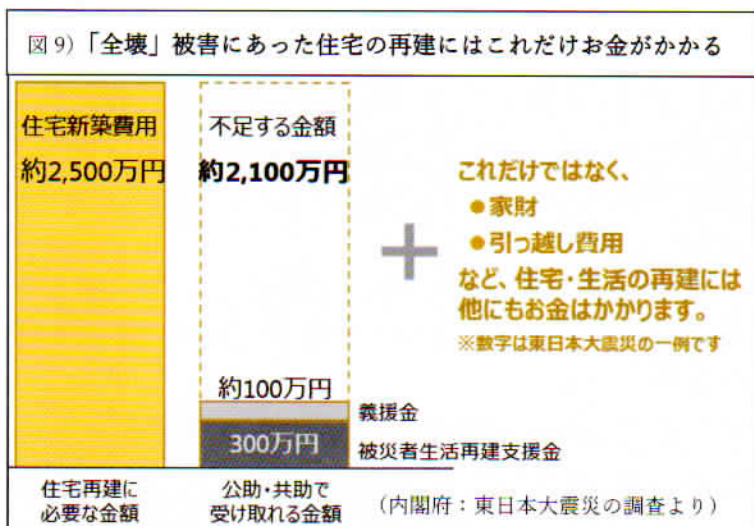


(兵庫県、国土交通省、熊本県、石川県資料より)

もし、被害が出てもお金貰えるよね？

自治体からの支援金等や地震保険は、当座の生活再建のためという位置付けで、住宅の再建には程遠いんだ。

東日本大震災の時の例が右図だよ。全壊して新築住宅に建て替える場合、支援金や義援金は約 400 万円。対して、新築費用だけでも約 2,500 万円。それに諸々の費用がかかる。



地震保険は、火災保険の 3～5 割しか保険がかけられない。だから全壊でも火災保険の 50% 以下しか保険金は出ない。東日本大震災の時一番多かったのは「一部損壊」で地震保険金額の 5% 程度の支払いだったらしいよ。

しかも、今は建築費が高騰しているし、建材も人手も大幅に不足するから、新築や修理には長い時間がかかる。ダブルローンの心配もある。

仮設住宅は建設にも相当な時間がかかるし、数も限られるから、なかなか入れないんだよ。

だから、古い住宅なら「耐震診断」を受けて、危険性を指摘されたら「耐震補強工事」をぜひ検討してほしい。

新築や修繕より費用は大幅に抑えられるよ。なにより、家に被害がないなら命やケガの危険性が減るし、地震の後もそれまでと同じ生活が続けられるよ。

それに、住宅の耐震性診断と耐震補強工事には、公的補助が受けられる場合があるよ！

まずは市役所に連絡して相談してみよう！

申請しないで工事をすると補助の対象外になるので気を付けてね！

図 10)《佐倉市の木造住宅の耐震診断・耐震補強工事への補助》

(令和8年4月～11月末 または予算到達迄)

	(1) 耐震診断		(2) 耐震工事	
耐震基準	旧耐震基準	新耐震基準	旧耐震基準	新耐震基準
補助金額	2/3 かつ 8.8 万円限度	2/3 かつ 4.4 万円限度	4/5 かつ 115 万円限度	4/5 かつ 58 万円限度
	(3) 耐震補強リフォーム補助		(4) 耐震シェルター設置リフォーム補助	
耐震基準	旧耐震基準		旧耐震基準(対象者に制限あり)	
補助金額	10 万円限度(耐震工事と一緒に)		上限 25 万円	

ホームページ: 佐倉市<令和 8 年分>木造住宅の耐震診断・耐震補強工事への補助

問い合わせ先: 佐倉市都市部建築指導課 指導班: ☎043-484-6169 ✉kenchikushidou@city.sakura.lg.jp